



ひゅーまんらいつ

第207号 2018（平成30）年

世界人権宣言70周年

2018(平成30)年12月10日、世界人権宣言は採択70周年を迎えました。

世界人権宣言って何？

基本的人権尊重の原則を定めたものであり、初めて人権保障の目的や基準を国際的にうたった画期的なものです。1948（昭和23）年、国際連合によって「あらゆる人と国が達成すべき共通の基準」として採択されました。この宣言は、前文と30条の条文から成り立っています。

世界人権宣言はなぜできたの？

20世紀に起きた2つの世界大戦では、多くの人命が失われ、人権が踏みにじられるできごとも多く発生しました。こうした悲劇を二度と繰り返してはならないという反省から国際連合（国連）が設立されました。また、人権を守ることは世界平和につながるという考えから世界人権宣言が採択されました。



世界人権宣言でうたわれていること

市民的・政治的権利

法の下での平等、思想や表現の自由など

経済的・社会的・文化的権利

教育を受ける権利、労働に関する権利、人間らしい生活をする権利など

～人権～

「人権」という言葉から、何だか堅苦しくて難しいものという印象を受けますが、「人権」とは「全ての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」あるいは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利」であり、誰にとっても身近で大切なものです。

70周年のこの機会に改めて、「世界人権宣言」を読んでみませんか？人権情報センターに関連書籍もあります。ぜひ、お立ち寄りください！



～人権情報センターからのお知らせ～

本を紹介する “POP”を書いてみませんか？

本を読んで感じたこと、他の人にも読んでほしいポイントなど、あなたの思いを伝えてみませんか？お寄せいただいた“POP”は人権情報センターに展示させていただきます。くわしくは人権情報センターにお問合せください。

← いろいろな用紙をご用意しています。



「よなごの人権フォーラム'18」を開催しました！

ご参加いただきありがとうございました。
人権情報センターでは毎年「よなごの人権フォーラム」を開催しています。今回はホワイエで人権啓発パネル展も開催しました。

～参加者アンケートから～

“グローバル”の考え方、本当に大切ですね。「行動」に結びつけられるよう“体験”することを恐れないようにしたいと思います。個人のレベルを上げていかなければ、世界は平和にならないと思いました。

※グローバル

グローバル(global)とローカル(local)からの造語。
地球規模の視野で考え、地域視点で行動するという考え方。



よなごの人権フォーラム'18 島根県民カレッジ新島郡 人権啓発センター

講演会
多文化共生社会の実現へ
～世界が教えてくれた「違い」を認め合う大切さ～

入場無料 申込不要
手話通訳 要約筆記 あり
託児あり

■プロフィール
世界100を超える国と地域を旅してきた元中学校・高校の教師、教師としての経験と今でも旅を続けている体験をベースに、日本中の小中高生や大学生、若い社会人に「グローバル時代に必要本当の生き方・考え方」や「夢を持って挑戦することのすばらしさ」を伝える講演や出前授業をおこなっている。

講師 藤本 正樹 さん
(島根県立しんがき高等学校教員)

ホワイエで人権啓発パネル展も開催します。

日時：平成30年12月8日(土)
午後2時～3時30分 開場/午後1時30分
会場：米子市淀江文化センター さなめホール
米子市淀江町西原708-4(米子市役所淀江支所となり)

米子市人権情報センター(米子市役所第2庁舎1階)
TEL 0859-37-3183 FAX 0859-37-3184

平成30年度中学校区人権問題講演会を開催しました！

毎年、市内3中学校区で実施している、どなたでも参加できる講演会です。各校区で多彩な講師をお迎えし、人権問題に対する意識を高めました。来年度、お住まいの校区で開催される際には、ぜひご参加ください！



① 淀江中学校区

平成30年7月30日(月)
会場：米子市淀江文化センター
■演題：「人権コンサート：心に響く贈り物～一人ひとりが大切な一人～」
■講師：オカリナαさん
(広島県福山市)

③ 弓ヶ浜中学校区

平成30年10月10日(水)
会場：弓ヶ浜中学校
■演題：「子縁でつながる～子どもたちにラブレターを書こう～」
■講師：新保真紀子さん
(神戸親和女子大学客員教授)

【後藤ヶ丘中学校区 講演会の様子】



② 後藤ヶ丘中学校区

平成30年10月2日(火)
会場：後藤ヶ丘中学校
■演題：「これからの学びを支える心の育ち～子どもの自尊心と家庭・学校・地域の役割～」
■講師：肥後功一さん
(島根大学副学長)

人工知能などの先端技術によって社会の在り方が急激に変化する時代、学校での学び方も大きく変わろうとしています。子どもたちが未来を生き抜く力の土台とは何か、一緒に考えようという講演でした。

～参加者アンケートから～

- ・子どもが生きていけないといけない現状や各所の役割について、とても分かりやすく話してもらってよかった。
- ・日々の子育てを振り返り、今後の子どもへの接し方を考える良い機会になりました。



米子市人権情報センター

〒683-8686 米子市東町161-2

TEL 0859-37-3183 FAX 0859-37-3184

E-mail humanr@ruby.ocn.ne.jp

URL: <http://www.city.yonago.lg.jp/jinken/>